

荒木穂積

人間の発達に関わることについてはどんなことにも関心をもっています。特に、子どもの発達に関しては、子どもの発達過程に現れる「発達の謎」の解明に挑戦中です。主たる研究テーマは、人間発達における発達の質的転換期の研究とそれにもとづく発達保障理論の構築（これは、ライフワークです）。最近は、自閉症スペクトラムの研究、発達相談や発達診断、東アジアの障害児教育・福祉（中国、ベトナムなど）のネットワーク構築などに取り組んでいます。

1. 専門演習の目標

乳幼児期から高齢期まで人間のライフ・スージを視野に入れて、人間の発達過程における発達の謎とその時期の発達保障の諸課題について探求する。

2. 専門演習で扱う課題と内容

ゼミのメインテーマである「現代社会と人間の発達保障 II」（前年度に引き続き同一テーマを深めます）に関して、文献研究とフィールド・ワークを組み合わせて取り組みます。文献研究を前期（前半）に取り組み、前期（後半）からはフィールド・ワークの準備をします。人間の発達過程にどのような発達の「謎」が存在するのかを研究します。

3. 授業の進め方・内容

ゼミは各自の興味があるテーマにそってグループ編成をおこないます。グループの人数や興味・関心によってサブグループを編成し、ゼミの基礎集団とします。ゼミ運営はグループを中心に行いたいと考えています。3名から5名でグループ編成し、グループを中心としたゼミ運営です。大学院生や他ゼミ、他学部、他大学のゼミとの研究活動の交流も積極的に行っていきたくと考えています。

3回生前期のゼミでは、前期（前半）に文献研究に取り組み課題設定を行います。前期（後半）にフィールド・ワークの準備に取り組みます。

3回生後期のゼミでは、設定された課題についてフィールド・ワーク調査や観察・実験などに取り組みます。後期12月に開催されるゼミナール大会でその成果を発表することを目標とします。

4回生前期のゼミでは、3回生時の研究をもとに卒業研究の課題設定に取り組みます。卒業研究は個人（卒業論文）でもグループ（集団研究）でもかまいません。

4回生後期のゼミでは、卒業研究を仕上げます。並行して論文指導を行います。

4. 必要とする知識

乳幼児心理学、学童・青年心理学、成年心理学、高齢期心理学など人間発達や心理に関する基礎知識。

5. 関連する分野・科目・知識

人権宣言、国際人権規約、子どもの権利条約、障害者権利条約、青年の人権宣言、高齢者行動計画など人権や国連の人間開発および人間の安全保障に関する基礎知識。

6. テキスト・参考書・機材（受講生が標準的に持つもの）

- ・心理科学研究会編『育ちあう乳幼児心理学-21世紀に保育実践とともに歩む』有斐閣
- ・心理科学研究会編『小学生の生活とこころの発達』福村出版
- ・糸賀一雄「復刻この子らを世の光に一近江学園二十年の願い」NHK出版

7. 独自に付加する選考方法

人間発達に関する、興味・関心の広がりや深さおよびサークル活動やボランティア活動などでの経験などを加味します。これまで取り組んできたことを積極的にアピールしてください。

8. 受講生に望むこと

人間発達に関心がある人、とにかく人間が好きな人、特に、子どもや障害児・者、青年の自立、人生の価値観、高齢者の人格形成に興味がある人の参加を期待します。